

## 平成22年度広島市立広島特別支援学校 夏期校内研修会の御案内

盛夏の候、皆様方にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、夏季休業中に下記のとおり校内研修会を実施いたしますので、是非御参加くださいますよう御案内申し上げます。なお、参加を希望される場合は、参加申込書を御提出くださいますようお願いいたします。

記

### 1 研修会内容

番号	研修会主題・講師	日時（場所）
1	「訪問学級の教育課程について」 ～自立活動の取組と授業の組立について～ 講師：広島市教育委員会特別支援教育課主任指導主事 関 和典 様	7月27日（火） 13:15～14:45 （食堂）
2	「発達段階に応じた数量概念の指導法」 講師：広島市教育委員会特別支援教育課主任指導主事 関 和典 様	7月29日（木） 9:30～11:30 （食堂）
3	「授業実践力を高めるために」 ～OTとの協力による支援方法～ 講師：広島大学大学院保健学研究科講師 石附 智奈美 様	8月 2日（月） 9:30～11:30 （食堂）
4	「摂食指導研修」 講師：広島市西部子ども療育センター 言語聴覚士 水野 徹 様	8月 2日（月） 13:30～15:30 （食堂）
5	「医療的ケアを必要とする児童生徒の対応について」 講師：日本鋼管福山病院小児科 小児神経専門部長 村上 暢子 様	8月23日（月） 10:00～12:00 （食堂）
6	「特別支援学校におけるキャリア教育の在り方」 講師：愛媛大学教育学部教授 上岡 一世 様	8月25日（水） 9:30～11:30 （食堂）
7	「知っておきたい重複障害児童生徒に対する理学療法支援について」 講師：広島国際大学理学療法学科教授 河村 光俊 様	8月25日（水） 13:30～15:30 （食堂）

※ 別紙の研修会の内容を御参考ください。

なお、教材展示会を8月5日（木）～8月26日（木）に実施していますので、併せて御覧ください。

### 2 参加申し込みについて

参加申込書（別添）に必要事項をお書きのうえ、市のメール便・FAX・郵送・Eメールでお申し込みください。

(1) 申込期限 各々の研修会の一週間前まで

(2) 申込先 〒730-0051 広島市中区大手町四丁目4番4号 （校番 中区特1）  
広島市立広島特別支援学校 研究部 金本 裕史  
TEL (082) 245-0304  
FAX (082) 245-0349  
Eメール: kanemoto-hi08@edu.city.hiroshima.jp

### 3 研修会の内容

#### **研修会番号 1 「訪問学級の教育課程について～自立活動の取組と授業の組立について～」**

本校では、新設校に向けて教育課程の見直しが行われています。訪問学級においても、授業の組み立てや、重点的に取り組む内容、目標、評価などについて研修を行っています。今年度は自立活動の取組と成果を発表すると同時に、訪問学級の教育課程について研修した内容をお知らせしたいと考えています。意見交換を通して、重度重複学級の取組にもつながっていくことと期待しています。

#### **研修会番号 2 「発達段階に応じた数量概念の指導法について」**

一学期の授業の中で困ったことはなかったでしょうか?この基礎研修会は、国語と算数の指導についての研修会を毎年交互に行っています。今年度は算数の数や量について研修する予定です。児童生徒がゲーム等の楽しい学習に意欲的に取り組む中で、操作することを通して、はぐぐんできた数や量の認識を概念形成につなげていく具体的な指導方法をお話しいたします。二学期からの授業に役立つことと思いますので、ぜひ御参加ください。

#### **研修会番号 3 「授業実践力を高めるために～OTとの協力による支援方法～」**

特別支援学校には、「教育と医療・福祉機関との連携事業」による作業療法士（OT）が配置されています。今回の研修会では、児童生徒の困りごとに対して、作業療法士が具体的にどのような助言・支援を行っているのか、「作業療法士の専門性」の基礎的な部分から話をさせていただきます。その中で、よりよい授業を実践するため、教育活動に作業療法士の専門性を上手に取り入れていくポイントや、作業療法士と教師の連携について事例報告します。この機会に、作業療法の視点に触れてみませんか?

#### **研修会番号 4 「摂食指導研修」**

摂食指導では、食事というあまりにも日常的な行為のために、支援する側がどれだけ対象となる児童生徒の身になって考えられるかという点が重要となります。対象児童生徒は、指導する教師に身を預けています。食べる機能の発達や回復は長い時間を要して際立った効果が見えにくいいため、教師の根気を要します。今回、広島市西部こども療育センターから水野 徹言語聴覚士をお招きし、摂食指導時の姿勢管理や誤った摂食方法、誤嚥をさせないためのポイント、また、摂食障害別の指導方法の一部など、実技を交えた研修会を開催いたします。対象児童生徒が安全かつ楽しく給食を食べることができる環境づくりを目指して専門性を高めてみませんか?

#### **研修会番号 5 「医療的ケアを必要とする児童生徒の対応について」**

学校で医療的ケアが実施されるようになりしばらくたちますが、本校にも吸引や吸入、注入など、医療的ケアを必要とする児童生徒が通学し、主治医の指示のもとに看護師によるケアを受けています。医療的ケアはこの子ども達にとって、学校生活を送る上で欠かせないものですが、「学校に登校して先生や友達と楽しく過ごしたい。」「学校でいろいろなことをたくさん学びたい。」という願いはみんなと同じです。

私たちは、医療的ケアを必要とする児童生徒に関わる際に、どのような点に注意すればいいのか、また、健康管理上どのような点に配慮すればいいのか、日本鋼管福山病院小児科 小児神経専門部長の村上 暢子先生に御来校いただき、お話をさせていただきます。

### 研修会番号 6 「特別支援学校におけるキャリア教育の在り方」

特別支援教育に求められる視点として、「児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組の支援」があげられています。これは、児童生徒のキャリア発達を支援するキャリア教育の視点にも通じるもので、特別支援教育におけるキャリア教育の重要性を表すものであると考えます。今回の研修では、特別支援学校の校長でもいらっしゃる愛媛大学教育学部教授の上岡一世先生をお招きし、キャリア教育の在り方、教科や行事との関係性など、基礎的な事柄から詳しくお話をしていただこうと思います。ぜひ御参加ください。

### 研修会番号 7 「知っておきたい重複障害児童生徒に対する理学療法支援について」

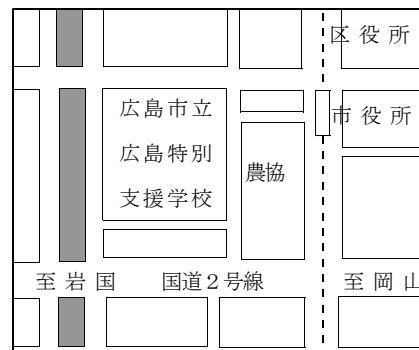
脳性まひが現在でも運動発達障害を示す筆頭の疾患ですが、脳性まひの様相も変化しています。今は脳質周囲白質軟化症が多くの脳性まひの原因の一つであることが分かっていますが、その発生予防の決め手はまだ見つかっていないのが現状です。発達を支援していく上で正常運動発達の知識は絶対不可欠であり、どのような運動を促すことが発達を効果的に促進していくことができるのかを知っておくことは、重複障害児童生徒に関わっている専門職が知識を共有しておくことが求められています。重複障害児童生徒の発達を支援していく上で、必要な基本的運動能力をどのように高めていくことができるのか、正常発達の知識を織り交ぜながら運動刺激についての講義を聴かせていただきます。

#### 4 交通の御案内

広島駅南口より

- 市内電車・・・1番（電車のりば）  
紙屋町經由宇品行 市役所前下車
- 広電バス・・・3番（Aホーム1番のりば）  
広島西飛行場行 市役所前下車
- 広島バス・・・21番（Aホーム2番のりば）  
広島港（宇品）行 市役所前下車

\*駐車場の確保ができないため、公共交通機関を御利用ください。



## 研修会参加申込書

<b>学校（所属）名</b>								
<b>勤務先住所</b>								
TEL (            )								
FAX (            )								
<b>氏名</b>	<b>研修会番号</b> ○をしてください (複数可)	1	2	3	4	5	6	7
<b>氏名</b>	<b>研修会番号</b> ○をしてください (複数可)	1	2	3	4	5	6	7
<b>氏名</b>	<b>研修会番号</b> ○をしてください (複数可)	1	2	3	4	5	6	7
<b>氏名</b>	<b>研修会番号</b> ○をしてください (複数可)	1	2	3	4	5	6	7
<b>氏名</b>	<b>研修会番号</b> ○をしてください (複数可)	1	2	3	4	5	6	7
<b>氏名</b>	<b>研修会番号</b> ○をしてください (複数可)	1	2	3	4	5	6	7
【その他、連絡があればご記入ください。】								

\* 申し込み期限 各研修会の一週間前まで をお願いします。

\* その他、申し込みに関するお願い

- 各校・各施設で、できるだけまとめてお申し込みください。
- 参加申込書は必ずコピーをされ、写しを各校・各施設にて保管しておいてください。
- FAX送信で申し込まれた場合は、回線が混み合う場合がありますので、必ず送信確認をしてください。
- 参加をキャンセルされる場合は、研究部 金本裕史まで御連絡ください。

\* 申し込みにあたっての個人情報は、この研修会に関する以外には使用いたしません。